

小学校 中 学年<3-(13)>

学 年	3年	時 間	国語「世界の家のつくりについて考えよう」 人をつつむ形—世界の家めぐり	時 期	2月	時 数	通常の指導中に 5分程度
本時目標	家のつくりに関心を持ち、気候や暮らしと関係づけて工夫されていることを知り、地震等災害の多い日本の家を災害から守るための強い家の造りについて考えることができる。						
資料・準備	紙ぶるる（教師用）または、紙等で作成した建物模型（筋交いの付け外しできる）						

展開（第11時）

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇)	指導上の留意点 支援(○)
導 入	1 (授業者で)	
展 開	2 (授業計画のとおり、授業者で)	
	3 地震等災害の多い日本の家を災害から守るための強い家の造りについて考える。 ◇たてと横（柱と鴨居・壁・床・天井）だけではなく、斜めに筋交いを入れることで、しっかりと安定させることができます。模型で見てみましょう。	○「紙ぶるる」を組み立てたものを見せて、筋交いのあるなしで家の強度が大きくなりやすいことを知らせ、筋交いの必要性を感じ取らせる。   <p>○自分の家についても関心を持たせ、家の人とも話し合ってみることを勧める。</p>
ま と め	まとめとふりかえりをする。	

関連する 教科・領域等	
協力団体	